

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
 【単独・連携事業】

市町名	那須烏山市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計	
1	那須烏山市JR烏山線利用向上事業	総事業費			2,500,000	2,000,000	4,500,000	
		うち市町支出額			2,500,000	2,000,000	4,500,000	
		うち県交付金			1,250,000	1,000,000	2,250,000	
2	那須烏山市オリジナル介護予防体操DVD作成事業	総事業費			450,000	0	450,000	
		うち市町支出額			450,000	0	450,000	
		うち県交付金			215,000	0	215,000	
3	JR烏山線開業100周年記念事業	総事業費		5,103,248	300,000	0	5,403,248	
		うち市町支出額			5,000,000	300,000	0	5,300,000
		うち県交付金			2,500,000	150,000	0	2,650,000
4	地域に根差した人材の育成と企業との連携を目指す地域活性化プロジェクト事業	総事業費		622,633			622,633	
		うち市町支出額		500,000	0		500,000	
		うち県交付金		250,000	0		250,000	
5	八咫烏フォーラム事業	総事業費		2,665,967			2,665,967	
		うち市町支出額		1,000,000	0		1,000,000	
		うち県交付金		500,000	0		500,000	
6	メグロ・キャノンボール那須烏山	総事業費		969,270			969,270	
		うち市町支出額		500,000	0	0	500,000	
		うち県交付金		250,000	0	0	250,000	
7	夜のあかりプロジェクト	総事業費		542,208			542,208	
		うち市町支出額		500,000	0	0	500,000	
		うち県交付金		250,000	0	0	250,000	
8	「なすから プロモーション」	総事業費	451,473				451,473	
		うち市町支出額	451,473	0	0	0	451,473	
		うち県交付金	225,736	0	0	0	225,736	
9		総事業費					0	
		うち市町支出額					0	
		うち県交付金					0	
10		総事業費					0	
		うち市町支出額					0	
		うち県交付金					0	
市町計		総事業費	451,473	1,511,478	8,391,848	3,250,000	2,000,000	15,604,799
		うち市町支出額	451,473	1,000,000	6,500,000	3,250,000	2,000,000	13,201,473
		うち県交付金	225,736	500,000	3,250,000	1,615,000	1,000,000	6,590,736

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市JR烏山線利用向上事業
事業主体の名称	那須烏山市JR烏山線利用向上委員会
代表者の名称	委員長 川 俣 純 子
事業主体の所在	那須烏山市中央1-1-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:JR烏山線利用向上事業の検討、実施 ・設立年月日:令和6年6月11日 ・構成員等:関係団体等 19名
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・JR烏山線は市内に5つの駅があり、地域の公共交通の要であることはもちろん、観光人口、交流人口、関係人口の創出を担う地域の玄関口であり、地域の魅力そのものを担う重要な地域資源であるといえる。 ・しかし、人口減少や自動車の普及、新型コロナウイルス感染症等の様々な要因により、利用客が減少しており、JR東日本より利用の少ない線区として経営状況の公表がされた。 ・「平均通過人員1,000人以下」が、鉄道存廃やバス運行への転換について協議される目安とされており、2022年度JR烏山線の平均通過人員は1,120人と、今後の路線存続のためには利用向上が不可欠である。
事業目的	JR烏山線に対する愛着心醸成及び利用向上を図る。また、交流イベント等を実施し関係人口の創出に寄与する。
事業概要	<p>関係人口の分類型【I-d】 【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アキュム(蓄電池駆動電車)導入10周年記念イベントの実施や利用向上を目的とした企画を実施することで、JR烏山線に対する愛着心の醸成及び利用向上を図る。 ・地域の玄関口であるJR烏山線の利用を呼び掛け、イベント等について広く周知することで、地域住民や市内外からの誘客を図り、将来的な関係人口の創出に寄与する。 <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノベルティ(10周年記念うちわ、きっぷ等)作製、各種イベント実施時に配付 ・7月 山あげ祭時 JR烏山線のPR ・10月～11月 JR烏山線スタンプラリー ・11月23日 烏山駅前広場にてアキュム導入10周年記念イベント実施 ・通年 各種団体等との連携事業の実施 <p>【令和7、8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的なイベントや企画を実施することで、JR烏山線に対する愛着心の醸成及び利用向上を図る。 ・地域の玄関口であるJR烏山線の利用を呼び掛け、イベント等について広く周知することで、地域住民や市内外からの誘客を図り、将来的な関係人口の創出に寄与する。 <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノベルティ作製、各種イベント実施時に配付 ・10月～11月 JR烏山線スタンプラリー ・7月 山あげ祭時 JR烏山線のPR ・10～11月頃 関係団体と連携したイベントの実施 ・通年 各種団体等との連携事業の実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:未来につなぐ安全・安心な暮らしを守る III暮らしやすい都市再生戦略</p> <p>KPI:JR烏山線の平均通過人員 直近の実績値(令和5年度)1,120人⇒目標値(令和9年度)1,400人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アキュム導入10周年記念イベントの実施 ・烏山線スタンプラリーの実施 ・ノベルティ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・烏山線スタンプラリーの実施 ・関係団体と連携した交流イベントの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・烏山線スタンプラリーの実施 ・関係団体と連携した交流イベントの実施
事業費	2,500,000	2,000,000	4,500,000	2,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,500,000	2,000,000	4,500,000	2,000,000
うち県交付金	1,250,000	1,000,000	2,250,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須烏山市JR烏山線利用向上事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	2,500,000	
計	2,500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	200,000	200,000	100,000	0	事務用消耗品等購入費
印刷製本費	200,000	200,000	100,000	0	チラシ・ポスター印刷
広告費	200,000	200,000	100,000	0	デジタルサイネージ 100,000 新聞折込 100,000
委託料	1,900,000	1,900,000	950,000	0	集客イベント委託料 1,000,000 スタンプラリー 600,000 ノベルティ製作 300,000
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,500,000	2,500,000	1,250,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市オリジナル介護予防体操DVD作成事業
事業主体の名称	那須烏山市リハビリ専門職連携会
代表者の名称	金枝 芳明
事業主体の所在	〒321-0505 那須烏山市上川井807-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:那須烏山市内の病院や施設に勤務するリハビリ専門職(作業療法士、言語聴覚士、理学療法士)のネットワークを構築し、那須烏山市民の健康増進や疾病予防・介護予防に関する活動(事業)を行う。 設立年月日:令和4(2022)年10月5日 構成員等:9名(うち、那須烏山市に在住・在勤する者8名)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>令和4年度の栃木県における高齢化率(65歳以上の全人口に占める割合)は、29.9%で全国平均の29.0%とほぼ同水準であるが、那須烏山市における高齢化率はさらに進行しており、令和5年度には38%を超え、今後も増加が見込まれている。また、令和12(2030)年頃からは、85歳以上の人口が徐々に増加し、医療・介護双方に課題を抱える要介護高齢者が増加すると考えられている。</p> <p>このような状況の中、市総合計画においては、高齢者の自立支援や地域包括ケアシステムの推進を重点戦略に掲げ、通いの場(ふれあいの里)の拡充や、多様な担い手による支えあいの地域づくりを推進していくこととしている。</p>
事業目的	那須烏山市の疾病傾向や要介護要因を踏まえ、市独自の体操プログラム(ふれいあい体操)を作成し実施することで、要介護認定者の増加を食い止めるとともに、元気な高齢者による地域の担い手の確保を目的とする。また、通いの場等での体操を通じて地域住民同士の交流を促進し、心身の健康づくりを図る。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①フレイル・介護予防を目的とし、口腔、認知、運動機能の維持向上を図るための市独自の体操DVDを作成する。リハビリ専門職の立場から、高齢者に有効な動きを取り入れることを意識し、「那須烏山市民の歌」を用いた柔軟系の体操と、「栃木県民の歌」を用いた筋トレ・有酸素系の体操の2種類の体操を作成する。 ②通いの場(サロンやふれあいの里)でのDVDを活用した運動介入。 ③高齢者の利用頻度の高い施設(商店や病院等)へ協力を求め、体操を普及していく。 ④リハビリ専門職は、定期的に各通いの場での実施状況を確認し、必要に応じて運動指導を行う。 <p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDを用いた通いの場での運動介入 ・高齢者の利用頻度の高い施設(商店や病院等)へ協力を求め、体操を普及していく。 ・リハビリ専門職は、定期的に各通いの場での実施状況を確認し、必要に応じて運動指導を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:未来につなぐ健やかな暮らしを支える II 健康・長寿戦略</p> <p>KPI: 第1号被保険者の要介護認定率 17.1%(R5.3計画策定時直近の実績)→18.3%(令和9年度)</p> <p>介護支援や予防対策など高齢者の自立支援体制が整っていると思う人の割合 72.5%(直近の実績)→75.8%(R9)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①市オリジナル介護予防体操DVDの作成 ②DVDを用いた通いの場での運動介入 ③体操の普及 ④リハビリ専門職による通いの場での運動指導	②DVDを用いた通いの場での運動介入 ③体操の普及 ④リハビリ専門職による通いの場での運動指導		②DVDを用いた通いの場での運動介入 ③体操の普及 ④リハビリ専門職による通いの場での運動指導
事業費	450,000	0	450,000	0
市町支出金(ソフト事業分)	450,000	0	450,000	0
うち県交付金	215,000	0	215,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須烏山市オリジナル介護予防体操DVD作成事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	450,000	
計	450,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	100,000	100,000	50,000	0	事務用品、用紙、DVDディスク購入
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	チラシ、運動説明書の印刷費用
食糧費	20,000	20,000	0	0	DVD出演協力者へのお茶代
委託料	280,000	280,000	140,000	0	DVD編集委託費用 衣装クリーニング代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	450,000	450,000	215,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	JR烏山線開業100周年記念事業
事業主体の名称	那須烏山市JR烏山線利用向上委員会
代表者の名称	委員長 川 俣 純 子
事業主体の所在	那須烏山市中央1-1-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:JR烏山線利用向上事業の検討、実施 (JR烏山線開業100周年記念事業実行委員会の後継団体)</p> <p>・設立年月日:令和6年6月11日</p> <p>・構成員等:関係団体等 19名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・JR烏山線は市内に5つの駅があり、地域の公共交通の要であることはもちろん、観光人口、交流人口、関係人口の創出を担う地域の玄関口であり、地域の魅力そのものを担う重要な地域資源であるといえる。</p> <p>・しかし、人口減少や自動車の普及、新型コロナウイルス感染症等の様々な要因により、利用客が減少しており、JR東日本より利用の少ない線区として経営状況の公表がされた。</p> <p>・「平均通過人員1,000人以下」が、鉄道存廃やバス運行への転換について協議される目安とされており、2022年度JR烏山線の平均通過人員は1,120人と、今後の路線存続のためには利用向上が不可欠である。</p>
事業目的	令和5年4月に迎えたJR烏山線開業100周年の記念すべき節目を契機に、市民のJR烏山線に対する愛着心醸成及び利用向上を図る。
事業概要	<p>関係人口の分類型【I-d】</p> <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月に迎えたJR烏山線開業100周年を契機に、利用向上を目的とした継続的な企画を実施することで、JR烏山線に対する愛着心の醸成及び利用向上を図る。 ・地域の玄関口であるJR烏山線の利用を呼び掛け、イベント等について広く周知することで、地域住民や市内外からの誘客を図り、将来的な関係人口の創出に寄与する。 <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念品の展示 ・100周年記念ノベルティの継続作製、配付(列車カード、ノート等) ・のぼり旗作製(昨年度作製した100周年記念の懸垂幕デザインを使用) <p>【令和7年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して100周年記念品の展示を実施し、JR烏山線に対する愛着心の醸成を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:未来につなぐ安全・安心な暮らしを守る Ⅲ暮らしやすい都市再生戦略</p> <p>KPI:JR烏山線の平均通過人員</p> <p>直近の実績値(令和5年度)1,120人⇒目標値(令和9年度)1,400人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・烏山線開業100周年記念式典の実施 ・烏山線開業100周年記念イベント(マルシェ、スタンブラリー、パレード等)の実施 ・烏山線利用向上及びのためのプロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念品展示 ・100周年記念ノベルティ配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念品展示 		<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念品展示
事業費	5,103,248	300,000	0	5,403,248	0
市町支出金 (ソフト事業分)	5,000,000	300,000		5,300,000	
うち県交付金	2,500,000	150,000		2,650,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	103,248	0	0	103,248	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	JR烏山線開業100周年記念事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	300,000	
計	300,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	100,000	100,000	50,000	0	事務用消耗品等購入費
委託料	200,000	200,000	100,000	0	のぼり旗製作 ノベルティ製作
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	300,000	300,000	150,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合